

## 120901 空飛ぶ「ナナフシ」…

先日、ナナフシ（エダナナフシ）を紹介しました。

(<http://www.pref.osaka.jp/attach/15501/00099022/120813nanahusi.pdf>)

その後、大和葛城山頂付近で、“羽”のあるナナフシを見つけました！！

“トビナナフシ”の仲間で「ヤスマツトビナナフシ」という種です。

そもそも日本には15種類ほどのナナフシが生息しているのですが、私がこれまで見たことがあるのは次の4種類だけです。

- ① ヤスマツトビナナフシ（小さいながら羽があります）
- ② エダナナフシ（触角が長いです）
- ③ ナナフシモドキ（②とそっくりですが、触角が短いです）
- ④ トゲナナフシ（全身にたくさんの小さなトゲやコブを持ち、太めです）

この4種類の中で“羽”があるのは①だけですが、体の長さに比べてかなり小さめの羽ですので、果たして飛べるのかどうか…（後ろ羽のまく状の部分は淡いピンク色をしています）

### ◆写真①・② ヤスマツトビナナフシ

◇コナラの木を好むようですが、普段は樹冠近くで暮らしていますので、目にする機会は少ないです。

◇この種のオス個体は見つかっておらず、メスが単為生殖で子孫を残しています。

◇ということは、最終の脱皮を終えて羽を持った成体になっても、お腹の卵が大きくなれば重くなるし、重心の位置も後ろにずれるので、ますます飛ぶことが困難になるのでは…、と余計な心配をしてしまいます。

### ◆写真③： エダナナフシ

◇触角が長いですね。

◇薄緑一色の個体が多い中で、この個体は少々カラフルでした。

### ◆写真④： ナナフシ（ナナフシモドキ）

◇触角がかなり短いのが分かります。

### ◆写真⑤： トゲナナフシ

◇ずんぐりむっくりした体型で、触ると痛そうです…

### ◆写真⑥： 生まれたての小さな幼虫

◇大人になっても小枝のように細いのに、生まれたての個体は、わずか2～3cmで、まるで葉っぱの葉脈のような細さです…

◇地表で孵化した後、すぐにコナラの木を登って行きました。

※写真①～④は南河内の山で撮影しましたが、写真⑤と⑥は昨年、万博記念公園で撮影したものです。





















